

第46集

中学校長会研究集録



【切り絵】 川述 敏文

大分県中学校長会

第46集 大分県中学校長会研究集録発刊にあたって

昨年5月に天皇陛下のご即位に伴い元号が「平成」から「令和」へと改められました。今の子ども達がこれから生きていく「令和」の時代は、「超スマート社会（Society5.0）」の到来やグローバル化の進展、生産年齢人口の減少等、予測が困難な時代と言われています。

そのような中、9月から11月まで、ラグビーワールドカップ日本大会が開催され、ここ大分県でも5試合が実施されました。日本選手と外国人選手が文字通り「ワンチーム」の日本代表として大活躍したことや観客同士が国籍や勝敗を超え温かく交流を深めたこと、日本人の礼儀正しさに各国選手が心を打たれ試合後に観客席に向かい「お辞儀」をするようになったことなどが世界に発信され、これからのグローバル化や情報化を象徴するとともに、これまでの教育により培われた日本人の良さが再確認された出来事だったと思います。

さて、昨年5月に開催された全日中総会で、川越 豊彦 会長よりこれからの取組が3点提起されました。1点目は、令和3年度に全面実施となる「新学習指導要領の円滑な実施」に向けた取組です。主体的・対話的で深い学びの構築や社会に開かれた教育課程の編成、カリキュラムマネジメントによる学びの質の向上が求められています。2点目は、「学校における働き方改革」の推進です。昨年1月の中教審答申をもとに、12月には改正給特法が成立する等、今後も制度改正が行われていくことと思いますが、もっとも大切なのは「教員の意識改革」であり、それができるのは行政ではなく校長であるということです。3点目は安全・安心をキーワードとした新しい「全日中教育ビジョン」の策定です。

これを受けて、研究部長会では今年度の研究推進にあたって、全日中研究協議会主題が「社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育」から「新たな時代を切り拓きよりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育」に変更されることに伴い、各郡市研究部長による年間5回のテーマ別班別研修、全国大会・九州大会のレポート審議、移行措置を踏まえた新学習指導要領の趣旨・内容や教育行政の動向等の情報収集・発信に努めてまいりました。

昨年6月21日には、県下の校長が一堂に会する第65回大分県中学校長研究大会日田大会が、日田市立東部中学校長の小野 博康 実行委員長を中心として、日田市総合文化施設「A O S E 日田」を会場に開催されました。大分大学減災・復興デザイン教育研究センター長 小林 祐司 氏と実際に被災した日田市上宮町前自治会長 藤井 隆幸 氏による「九州北部豪雨災害からの教訓」と題しての講演を皮切りに、第1から第6の各分科会において、発表者の校長先生方からの具体的な実践報告と提案を受け、全体協議やグループ討議での活発な意見交換や情報交換がなされました。そこで交わされた論議は今後の各校での実践の深化・発展に大いに寄与するものとなり、県大会が県中学校長会の運営方針を体現する重要な場であると改めて感じたところです。日田大会の運営にあたりましては、日田市校長会を始め、ご協力いただきました玖珠郡の校長先生方には、多大なご尽力を賜りましたことに深く感謝いたします。

来年度も、校長としての経営感覚を磨き、未来志向の教育改革推進と直面する諸課題の解決に向け、強いリーダーシップを発揮する中学校教育の先陣として、県中学校長会が一丸となって研究・実践に努めなければならないと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

結びになりましたが、今年度の研究推進にあたり、教育委員会関係者の皆様方をはじめ各郡市中学校長、研究部長の校長先生方の誠意あるご協力に感謝いたします。また、県大会や研究部長会、各郡市の真摯な取組の記録である本集録を、それぞれの学校経営にご活用いただけますようお願い申し上げます。ご協力誠にありがとうございました。

大分県中学校長会 研究部長 曾 我 俊 智
(大分市立植田東中学校長)

目 次

第1部 郡市校長会 研究のまとめ

1	中津市 -----	1
	人間力を備えた 自ら学び切り拓く生徒の育成 代表執筆者 中津市立今津中学校 校長 環 昌 典	
2	豊後高田市 -----	6
	連携・協働の充実による人材育成の推進 代表執筆者 豊後高田市立戴星学園 校長 河 野 信 一	
3	宇佐市 -----	10
	確かな絆で結ばれ、地域に根差した特色ある学校づくり 代表執筆者 宇佐市立長洲中学校 校長 今 永 英 俊	
4	別府市 -----	14
	地域や専門機関との連携・協働による「チーム学校」の実現とその機能強化 代表執筆者 別府市立浜脇中学校 校長 樋 口 哲 司	
5	杵築市 -----	18
	保護者・地域に信頼される学校づくり 代表執筆者 杵築市立杵築中学校 校長 寺 田 好 孝	
6	速見郡 -----	22
	人材育成をどうすすめていくか 代表執筆者 日出町立大神中学校 校長 林 東 洋 一	
7	くにさき地区 -----	26
	自己理解を促し、将来にわたって人としての生き方を深める生徒指導と キャリア教育の充実 代表執筆者 国東市立国東中学校 校長 渡 邊 昌 教	
8	大分市 -----	33
	社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育 代表執筆者 大分市立鶴崎中学校 校長 石 川 哲	
9	臼杵市 -----	37
	「つながり」を大切にしたい人材育成の推進 代表執筆者 臼杵市立西中学校 校長 小 野 雅 史	
10	津久見市 -----	43
	すべての生徒が、学び合い深め合う授業をめざして 代表執筆者 津久見市立第一中学校 校長 中 野 敏 伸	
11	由布市 -----	48
	由布市連携型中高一貫教育の取組 代表執筆者 由布市立湯布院中学校 校長 衛 藤 展 一	
12	佐伯市 -----	52
	安心・安全な学校づくりの推進 代表執筆者 佐伯市立米水津中学校 校長 石 橋 玄 一 郎	
13	竹田市 -----	56
	「UDの視点からの授業改善」と「自尊感情を高める活動」により、 生徒の学力を保障する取組 代表執筆者 竹田市立都野中学校 校長 安 東 大 暁	
14	豊後大野市 -----	60
	小規模中学校における人材育成の取組について 代表執筆者 豊後大野市立清川中学校 校長 草 野 学	

15	日田市 -----	65
	自己理解を促し、将来にわたって人としての生き方を深める生徒指導と キャリア教育の充実 代表執筆者 日田市立戸山中学校 校長 森 山 智 紀	
16	玖珠郡 -----	70
	新中学校開校に向けての取り組み 代表執筆者 玖珠町立くす星翔中学校 校長 平 原 一 幸	

第2部 研究部長会 研究のまとめ

1	第1班 -----	73
	テーマ：地域や専門機関との連携・協働による「チーム学校」の実現とその機能強化 班長 林 東 洋 一 (速見郡) 班員 石 丸 哲 二 (くにさき地区) 樋 口 哲 司 (別府市) 寺 田 好 孝 (杵築市)	
2	第2班 -----	76
	テーマ：社会に開かれた教育課程実践のあり方 班長 古 谷 俊 之 (佐伯市) 班員 森 山 智 紀 (日田市) 平 原 一 幸 (玖珠町) 安 東 大 暁 (竹田市)	
3	第3班 -----	80
	テーマ：多様化・複雑化した教育課題に対応できる教員の育成 班長 永 松 一 郎 (宇佐市) 班員 伊 東 浩 治 (中津市) 草 野 学 (豊後大野市) 河 野 信 一 (豊後高田市)	
4	第4班 -----	83
	テーマ：主体的・対話的で深い学びの実現 班長 山 本 豊 (大分市) 班員 中 野 敏 伸 (津久見市) 小 野 雅 史 (臼杵市) 衛 藤 展 一 (由布市) 石 川 哲 (大分市)	

第3部 令和元年度研究大会のまとめ

第65回大分県中学校長研究大会	日田大会	86
第70回全九州中学校長研究大会	佐賀大会	90
第70回全日本中学校長会研究協議会	群馬大会	92

第4部 令和2年度研究大会の案内

第66回大分県中学校長研究大会	大分大会	96
第71回全九州中学校長研究大会	長崎大会	97
第71回全日本中学校長会研究協議会	和歌山大会	99

第47集

中学校長会研究集録



府内城（大分市）

大分県中学校長会

第47集 大分県中学校長会研究集録発刊にあたって

新型コロナウイルスによる感染症の蔓延に伴い、昨年度末から今年度にかけて教育界は未曾有の事態を迎えました。年度当初の緊急事態宣言に伴う長期の臨時休業の実施や入学式をはじめとして体育大会や文化発表会・修学旅行等々、これまで当たり前に行っていた学校行事が当たり前に行えない状況は多くの校長先生方が経験したことのないものでした。

このような中、第四四代全日中会長に就任した 八王子市立第七中学校 三田村 裕 校長は、その就任あいさつにおいて全日中が取り組む3つの重点課題を挙げています。

1点目は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生徒の学びの保障です。新型コロナウイルス感染症と共に生きていかなければならないという認識に立ちつつ、感染症対策を講じながら生徒の健やかな学びを保障するという新たな課題への取組が始まったと言えます。

2点目は、今年度新たに策定された「全日中新教育ビジョン」の推進です。この中には校長が自らの言葉で自身のビジョンを学校内外に伝える際に一つの指針となるよう、「取組の方向と10の提言」が示されています。

3点目は、全国各都道府県中学校校長会の緊密な協調のより一層の推進です。先の2点の取り組みを確実にを行うためには、全国の中学校長同士、あるいは各中学校長会と全日中との緊密な連携と協調が不可欠だからです。

これを受けて、本研究部長会では今年度の研究推進にあたって、「新たな時代を切り拓きよりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育」という全日中研究協議会主題のもと、各郡市研究部長による年間5回の研究部長会を開催してきました。全日中テーマに沿った班別研修を軸に、「全日中新教育ビジョン」の「取組の方向と10の提言」や「新学習指導要領完全実施に向けた学習評価」等の研修を取り入れながら、新型コロナウイルス対策に関する情報交換を密にするとともに教育行政の動向等の情報収集・発信に努めてまいりました。

今年は、県中学校長研究大会大分大会、全九中長崎大会や全日中和歌山大会が、新型コロナウイルスによる感染症の対策から紙面開催となりました。このことは、例年各大会の分科会における発表者の先生方の具体的な実践報告や提案、参加者による活発な意見交換の中で交わされる論議が、各学校における実践の深化・発展に如何に大きく寄与してきたか、各大会の重要性を再認識させられるものでした。

例年通りに開催できなかったことは残念でありませんが、最後まで開催を摸索して下さった大分市校長会の 生野 京子 会長をはじめとする大分市校長会の先生方、県大会にレポートをお寄せ下さった各郡市の校長先生方、並びに全九中長崎大会第2分科会提案者 臼杵市立西中学校 小野 雅史 校長に深く感謝申し上げます。皆様の真摯な取り組みが、大分県校長会の研究の継続と今後の発展につながるものと考えています。

コロナ禍の大変困難な状況の中ではありますが、来年度も校長としての経営感覚を磨き、未来志向の教育改革推進と直面する諸課題の解決に向け、強いリーダーシップを発揮する中学校教育の先陣として、県中学校長会が一丸となって研究・実践に努めなければならないと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

結びになりましたが、今年度の研究推進にあたり、教育委員会関係者の皆様方をはじめ各郡市中学校長、研究部長の校長先生方の誠意あるご協力に感謝いたします。また、県大会や研究部長会、各郡市の真摯な取組の記録である本集録を、それぞれの学校経営にご活用いただけますようお願い申し上げます。ご協力誠にありがとうございました。

大分県中学校長会 研究部長 曾 我 俊 智
(大分市立植田東中学校長)

目 次

第1部 郡市校長会 研究のまとめ

1	中津市	1
	「チーム学校」の実現に向けて 組織的に運営する学校づくり 代表執筆者 中津市立豊陽中学校 校長 工藤康志	
2	豊後高田市	7
	連携・協働の充実による人材育成の推進 代表執筆者 豊後高田市立戴星学園 校長 河野信一	
3	宇佐市	9
	コロナ禍における教育活動の充実 代表執筆者 宇佐市立北部中学校 校長 基野美知代	
4	別府市	11
	地域とともにある学校づくりの推進 代表執筆者 別府市立青山中学校 校長 猪俣正七郎	
5	杵築市	15
	コロナ禍における地域・保護者・生徒との連携・協働による教育活動の取組 代表執筆者 杵築市立宗近中学校 校長 小野誠司	
6	速見郡	19
	各教科等における資質・能力を育成するための学習評価や授業改善をどうすすめていくか 代表執筆者 日出町立大神中学校 校長 林東洋一	
7	くにさき地区	23
	「地域とともにある学校づくり」の推進 代表執筆者 国東市立志成学園 校長 畑野章	
8	大分市	25
	新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育 代表執筆者 大分市立坂ノ市中学校 校長 大石琢哉	
9	臼杵市	31
	臼杵市の幼保小中一体教育の『深化と確立』を目指して 代表執筆者 臼杵市立野津中学校 校長 村松勇哉	
10	津久見市	35
	コロナ禍における津久見市の教育活動について(仮題) 代表執筆者 津久見市立第二中学校 校長 重松弘樹	
11	由布市	38
	主体的・対話的に学び 豊かな表現力と突破力を持つ集団の育成 代表執筆者 由布市立湯布院中学校 校長 衛藤展一	
12	佐伯市	40
	一校一実践の取組 代表執筆者 佐伯市立鶴見中学校 校長 田口賢一	
13	竹田市	44
	豊かな自己表現力の育成 代表執筆者 竹田市立直入中学校 校長 永易昭彦	
14	豊後大野市	48
	WITHコロナ社会における学校の危機管理体制について 代表執筆者 豊後大野市立緒方中学校 校長 廣末伊智郎	

15	日田市	50
	地域や専門機関との連携・協働による『チーム学校』の実現とその機能強化 代表執筆者 日田市立津江中学校 校長 中野照行	
16	玖珠郡	56
	コミュニティ・スクールの取組み 代表執筆者 玖珠町立くす星翔中学校 校長 平原一幸	

第2部 研究部長会 研究のまとめ

1	第1班	59
	テーマ：よりよく生きるための道徳性や健康・体力を育む教育の充実 班長 畑野章(くにさき地区) 班員 猪俣正七郎(別府市) 小野誠司(杵築市) 林東洋一(速見郡)	
2	第2班	64
	テーマ：地域や専門機関との連携・協働による「チーム学校」との実現その機能強化 班長 田口賢一(佐伯市) 班員 平原一幸(玖珠町) 永易昭彦(竹田市) 中野照行(日田市)	
3	第3班	67
	テーマ：多様化・複雑化した教育課題に対応できる教員の育成 班長 工藤康志(中津市) 班員 河野信一(豊後高田市) 藤崎敬司(宇佐市) 廣末伊智郎(豊後大野市)	
4	第4班	70
	テーマ：主体的・対話的で深い学びの実現 班長 山本豊(大分市) 班員 重松弘樹(津久見市) 村松勇哉(臼杵市) 衛藤展一(由布市) 大石琢哉(大分市)	

第3部 令和2年度研究大会のまとめ

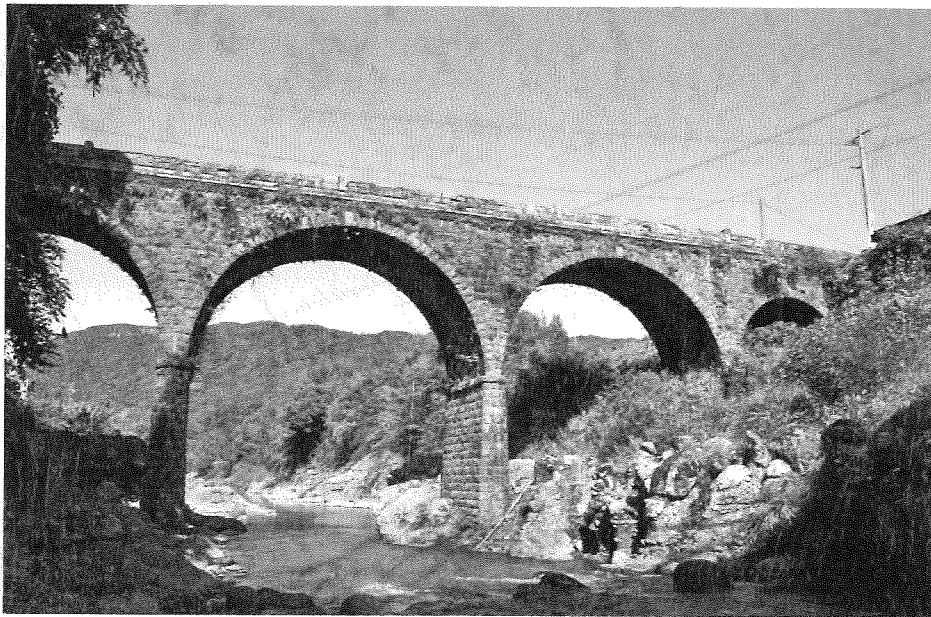
第66回大分県中学校長研究大会	大分大会	72
第71回全九州中学校長研究大会	長崎大会	78
第71回全日本中学校長会研究協議会	和歌山大会	83

第4部 令和3年度研究大会の案内

第67回大分県中学校長研究大会	宇佐大会	84
第72回全九州中学校長研究大会	沖縄大会	85
第72回全日本中学校長会研究協議会	静岡大会	87

第48集

中学校長会研究集録



宇佐市院内町石橋群

大分県中学校長会

第48集 大分県中学校長会研究集録発刊にあたって

新型コロナウイルス感染症が今なお世界中で広まっている現状の中、令和3年の夏に東京でオリンピック・パラリンピックが開催されました。感染症対策を講じての開催に対して、想像を絶する努力があったと思います。これは教育現場も同様であります。入学式をはじめとして体育大会や文化発表会、修学旅行、中体連や中文連の大会等、「学びを止めない」「活動を止めない」という強い意志のもと、様々な工夫を講じて、管理職がリーダーシップを取り、教育活動を進めてきました。5月の全日本中学校長会総会での 宮澤 一則 会長のあいさつの中にも、感染症の影響を踏まえながら学びの保障に取り組む、学びを止めない、という思いが語られ、次の3点の重点的な取組が挙げられました。

1点目は、先ほど述べました新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生徒の学びの保障です。新型コロナウイルス感染症と共に生きていかなければならないという認識のもと、様々な対策を講じながら生徒や教職員の命を守ることを第一に、教育活動を進めていくことです。その中の一つとしてGIGAスクール構想の実現が挙げられました。

2点目は、「全日中新教育ビジョン」のさらなる推進です。「取組の方向と10の提言」を学校経営に生かし、教職員に伝え、地域社会と共有することの重要性が示されました。

3点目は、教育改革の円滑な推進です。本年度から新学習指導要領の完全実施となり「社会に開かれた教育課程」「カリキュラム・マネジメント」「主体的・対話的で深い学び」等を着実に進めていかなければなりません。

大分県中学校長会研究部長会では今年度の研究推進にあたって、全日中研究協議会主題である「新たな時代を切り拓きよりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」のもと、取組の重点を踏まえ、各郡市研究部長による年間5回の研究部長会を開催してきました。全日中テーマに沿った班別研修を軸に、「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けての取組や「多様化する教育活動への対応」「人材育成」「新学習指導要領完全実施に向けた学習評価」等の内容について研修を重ね、新型コロナウイルス感染症対策に関する情報交換を密にするとともに教育行政の動向等の情報収集・発信に努めてまいりました。

今年は、県中学校長研究大会宇佐大会、全九中沖縄大会が新型コロナウイルスによる感染症の対策から誌上開催となり、全日中静岡大会はオンラインでの開催となりました。県大会におかれましては2年続けて現地開催が叶いませんでしたが、何とか現地で開催しようと多大なご尽力をされた宇佐市校長会の 藪野 美知代 会長をはじめとする宇佐市校長会の先生方に深く感謝申し上げます。またレポートをお寄せ下さった各郡市の校長先生方並びに全九中沖縄大会第4分科会提案者 中津市立中津中学校 中野 活彦 校長、第6分科会提案者 日田市立津江中学校 中野 照行 校長に対しても深く感謝申し上げます。皆様の具体的な実践報告や提案、問題提起が、各郡市や学校において活発に議論され、実践の深化・発展に寄与されていくものと確信しており、大分県中学校長会の研究の継続と今後の発展につながるものと考えています。

コロナ禍の大変困難な状況の中ではありますが、来年度も校長としての経営感覚を磨き、未来志向の教育改革推進と直面する諸課題の解決に向け、強いリーダーシップを発揮する中学校教育の先陣として、県中学校長会が一丸となって研究・実践に努めなければならないと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

結びになりましたが、今年度の研究推進にあたり、教育委員会関係者の皆様方をはじめ各郡市中学校長、研究部長の校長先生方の誠意あるご協力に感謝いたします。また、県大会や研究部長会、各郡市の真摯な取組の記録である本集録を、それぞれの学校経営にご活用いただけますようお願い申し上げて研究集録発刊の挨拶といたします。ご協力誠にありがとうございました。

大分県中学校長会 研究部長 大石 琢哉
(大分市立坂ノ市中学校長)

目 次

第1部 郡市校長会 研究のまとめ

1	中津市	1
	多様化した教育課題に対応できる学校経営と教員の育成 代表執筆者 中津市立本耶馬溪中学校 校長 窪田秀樹	
2	豊後高田市	3
	多様化した教育課題に対応できる学校経営と教員の育成 代表執筆者 豊後高田市立田染中学校 校長 河野理	
3	宇佐市	5
	生きる力を育む学校教育の推進 代表執筆者 宇佐市立駅川中学校 校長 藤崎敬司	
4	別府市	7
	意欲をもって、学び合い、高め合う生徒の育成 代表執筆者 別府市立北部中学校 校長 亀川義徳	
5	杵築市	11
	主体的・対話的で深い学びの実現 代表執筆者 杵築市立宗近中学校 校長 小野誠司	
6	速見郡	15
	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 代表執筆者 日出町立大神中学校 校長 深町勝幸	
7	くにさき地区	18
	「人材育成(若手・ミドル・ベテラン)」・「働き方改革」・「IT教育」をどう進めていくか 代表執筆者 姫島村立姫島中学校 校長 河野一也	
8	大分市	20
	新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育 代表執筆者 大分市立戸次中学校 校長 上杉洋一	
9	臼杵市	26
	小規模特認校における小中一体教育の充実 代表執筆者 臼杵市立南中学校 校長 東克彦	
10	津久見市	29
	自律した生徒集団の育成をめざして 代表執筆者 津久見市立第二中学校 校長 重松弘樹	
11	由布市	32
	新学習指導要領完全実施に向けた由布市中学校の取組 代表執筆者 由布市立湯布院中学校 校長 安東勝利	
12	佐伯市	36
	「地域とともにある学校」づくりの推進 代表執筆者 佐伯市立米水津中学校 校長 阿南義則	
13	竹田市	39
	学力向上と授業改善 代表執筆者 竹田市立直入中学校 校長 永易昭彦	
14	豊後大野市	43
	主体的に未来を切り拓く子どもの育成を目指す組織的な小中一貫教育の推進 代表執筆者 豊後大野市立千歳中学校 校長 萩原正之	

15	日田市	47
	「子どもの学びを保障するための、学校運営の工夫と教職員の人材育成」 代表執筆者 日田市立津江中学校 校長 中野照行	
16	玖珠郡	51
	「学校の教育課題解決に向けたリーダーシップのあり方」 代表執筆者 九重町立このえ緑陽中学校 校長 時松栄子	

第2部 研究部長会 研究のまとめ

1	第1班	53
	テーマ：主体的・対話的で深い学びの実現 班長 河野一也(くにさき地区) 班員 亀川義徳(別府市) 深町勝幸(速見郡) 小野誠司(杵築市)	
2	第2班	57
	テーマ：多様化した教育課題に対応できる学校経営と教職員の育成 班長 中野照行(日田市) 班員 石橋玄一郎(佐伯市) 永易昭彦(竹田市) 平原一幸(玖珠町)	
3	第3班	59
	テーマ：多様化・複雑化した教育課題に対応できる教員の育成 班長 窪田秀樹(中津市) 班員 河野理(豊後高田市) 藤崎敬司(宇佐市) 萩原正之(豊後大野市)	
4	第4班	63
	テーマ：主体的・対話的で深い学びの実現 班長 上杉洋一(大分市) 班員 村松勇哉(臼杵市) 重松弘樹(津久見市) 安東勝利(由布市)	

第3部 令和3年度研究大会のまとめ

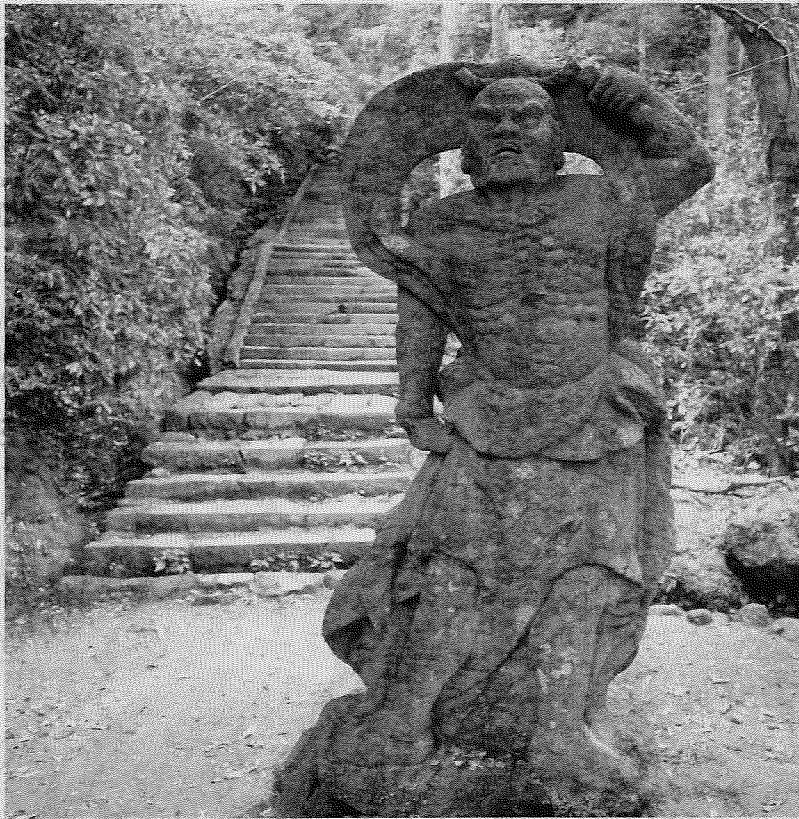
第67回大分県中学校長研究大会	宇佐大会	65
第72回全九州中学校長研究大会	沖縄大会	72
第72回全日本中学校長会研究協議会	静岡大会	75

第4部 令和4年度研究大会の案内

第68回大分県中学校長研究大会	くにさき大会	80
第73回全九州中学校長研究大会	福岡大会	81
第73回全日本中学校長会研究協議会	北海道大会	83

第49集

中学校長会研究集録



国東市 文殊仙寺仁王像

大分県中学校長会

第49集 大分県中学校長会研究集録発刊にあたって

令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症が今なお世界中で広まっている中、学校での教育活動は予防対策を講じながら生活様式を一変させる事態となりました。「学びを止めない」を合言葉に急激に進んだ学校のデジタル化。「GIGAスクール構想」によるオンライン授業・リモート学習への対応は簡単に運ぶものではありませんでした。3密回避による体験活動の減少や授業形態の変化に対応した人間関係づくりなど、新たな学校の生活様式による様々な取組を行わなければならない現状がありました。そのような中、我々校長は最高責任者として確固たる信念をもってリーダーシップを発揮していくことが一層求められており、8月に開催された全九州中学校長研究大会福岡大会の全体会で平井 邦明 全日本中学校長会会長から管理職としての取組について3点の話がありました。

1点目は、令和の日本型学校教育の実現に向けての取組です。新学習指導要領の4つのポイント（社会に開かれた教育課程、育成を目指す資質・能力、カリキュラム・マネジメント、主体的対話的で深い学びの視点からの授業改善）を再確認し、すべての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けたICT機器の活用を挙げていました。また、子どもの学び、教職員の姿、子どもの学びや教職員を支える環境、この3つの観点も示されました。

2点目は、全日中教育研究部の調査結果から見える課題の改善です。主体的・対話的な深い学びの主な手法としてペア・グループ学習を行っているが、さらに深めるための研修の機会や時間が取れていない。専門性を高めるための研修が校内に限られ、学校外の研修に参加できないなど。これらの課題の解決に取り組む必要性を述べていました。

3点目は、新たな研修システムについてです。教師自ら自覚と誇りをもって研修に打ち込むよう繰り返し対話をし、研修履歴を活用した指導や助言を効果的に行わなければならないこと。そのために、校長として求められる資質能力は「アセスメント能力」と「ファシリテーション能力」であると述べていました。

大分県中学校長会研究部長会では今年度の研究推進にあたって、全日中研究協議会主題である「新たな時代を切り拓きよりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」のもと、班別研修を軸に「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けての取組や「多様化した教育課題への対応」「チーム学校の実現とその機能の強化」等の内容について研修を重ね、新型コロナウイルス感染症対策に関する情報交換を密にするとともに教育行政の動向等の情報収集・発信に努めてまいりました。

今年の県中学校長研究大会は3年続けて現地開催が叶いませんでしたが、何とか現地で開催しようと多大なご尽力をされた開催地のくにさき地区中学校長会の 渡邊 昌教 会長をはじめとするくにさき地区校長会の先生方に深く感謝申し上げます。またレポートをお寄せ下さった各郡市の校長先生方並びに3年ぶりの現地開催となりました全九中福岡大会第2分科会提案者 別府市立中部中学校 佐藤 裕一 校長先生に対しましても深く感謝申し上げます。皆様の具体的な実践報告や提案、問題提起が、各郡市や学校において活発に議論され、実践の深化・発展に寄与されていくものと確信しており、大分県中学校長会の研究の継続と今後の発展につながるものと考えています。

来年度は全日本中学校長会研究協議会大分大会が控えており、多くの校長先生方のお力をお借りしなければなりません。大分より未来志向の教育改革推進と直面する諸課題の解決に向けた強いリーダーシップを発信できるよう、県中学校長会が一丸となって取り組みを進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

結びになりましたが、今年度の研究推進にあたり、教育委員会関係者の皆様方をはじめ各郡市中学校長、研究部長の校長先生方の誠意あるご協力に感謝いたします。また、県大会や研究部長会、各郡市の真摯な取組の記録である本集録を、それぞれの学校経営にご活用いただけますようお願い申し上げます。ご協力誠にありがとうございました。

大分県中学校長会 研究部長 大石 琢哉
(大分市立神崎中学校長)

目 次

第1部 郡市校長会 研究のまとめ

1	中津市	1
	学校と地域の連携・協働による「チーム学校」の実現 代表執筆者 中津市立豊陽中学校 校長 環 昌 典	
2	豊後高田市	4
	学校と地域の連携・協働による「チーム学校」の実現 代表執筆者 豊後高田市立田染中学校 校長 河 野 理	
3	宇佐市	7
	他者と協力・協働し、主体的に社会参画できる生徒の育成 代表執筆者 宇佐市立宇佐中学校 校長 香 下 仁 志	
4	別府市	11
	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 代表執筆者 別府市立北部中学校 校長 亀 川 義 徳	
5	杵築市	15
	主体的・対話的で深い学びの実現 ～「主体的・対話的で深い学び」の授業実践と学校の体制づくり～ 代表執筆者 杵築市立宗近中学校 校長 小 野 誠 司	
6	速見郡	19
	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ～各校の校内研究を中心として～ 代表執筆者 日出町立大神中学校 校長 深 町 勝 幸	
7	くにさき地区	22
	人材育成・ICT教育の推進 ・教職員としての自覚・意欲・授業力及び生徒指導力をもった人材の育成 ・2年先を見据えたICT教育の推進(ネット依存対策)と今すぐに見えること 代表執筆者 国東市立国東中学校 校長 末 綱 文 雄	
8	大分市	25
	新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育 代表執筆者 大分市立植田中学校 校長 河 野 正 行	
9	臼杵市	31
	学びに向かう力と自分で未来を切り拓く力を身に付けた生徒の育成 ～「見方・考え方」を働かせた「主体的・対話的で深い学び」の授業実践を通して～ 代表執筆者 臼杵市立西中学校 校長 後 藤 徳 一	
10	津久見市	36
	新時代を拓く最高学年の育成に向けて ～一中・二中交流の取組～ 代表執筆者 津久見市立第二中学校 校長 重 松 弘 樹	
11	由布市	39
	由布高校との中高連携教育の充実 ～中高6年間を見通した連携型中高一貫教育を目指して～ 代表執筆者 由布市立庄内中学校 校長 東 克 彦	
12	佐伯市	43
	ふるさとへの誇りと愛着をもった心豊かな生徒の育成 ～「総合的な学習の時間」を中心とした教育活動の工夫を通して～ 代表執筆者 佐伯市立宇目緑豊中学校 校長 安 達 一 郎	

13	竹田市	46
	学力向上と地域との連携 ～校内研究の取り組みと宮處野神楽の取り組みを通して～ 代表執筆者 竹田市立都野中学校 校長 佐 竹 正 敏	
14	豊後大野市	49
	主体的に未来を切り開く子どもの育成を目指す組織的な小中一貫教育の推進 代表執筆者 豊後大野市立犬飼中学校 校長 伊 東 美 沙	
15	日田市	52
	地域や専門機関との連携・協働による『チーム学校』の実現とその機能強化 代表執筆者 日田市立五馬中学校 校長 齊 藤 辰 也	
16	玖珠郡	57
	キャリア教育の取り組み ～小中高の連携を通して～ 代表執筆者 玖珠町立くす星翔中学校 校長 平 原 一 幸	

第2部 研究部長会 研究のまとめ

1	第1班	60
	テーマ：主体的・対話的で深い学びの実現 班長 小 野 誠 司 (杵築市) 班員 亀 川 義 徳 (別府市) 深 町 勝 幸 (速見郡) 末 綱 文 雄 (くにさき地区)	
2	第2班	64
	テーマ：多様化した教育課題に対応できる学校経営と教職員の育成 班長 平 原 一 幸 (玖珠郡) 班員 森 脇 郷 子 (佐伯市) 永 易 昭 彦 (竹田市) 齊 藤 辰 也 (日田市)	
3	第3班	67
	テーマ：学校と地域の連携・協働による「チーム学校」の実現 班長 鶴 成 智 章 (宇佐市) 班員 河 野 理 (豊後高田市) 環 昌 典 (中津市) 伊 東 美 沙 (豊後大野市)	
4	第4班	70
	テーマ：「チーム学校」の実現とその機能の強化 班長 河 野 正 行 (大分市) 班員 後 藤 徳 一 (臼杵市) 重 松 弘 樹 (津久見市) 東 克 彦 (由布市)	

第3部 令和4年度研究大会のまとめ

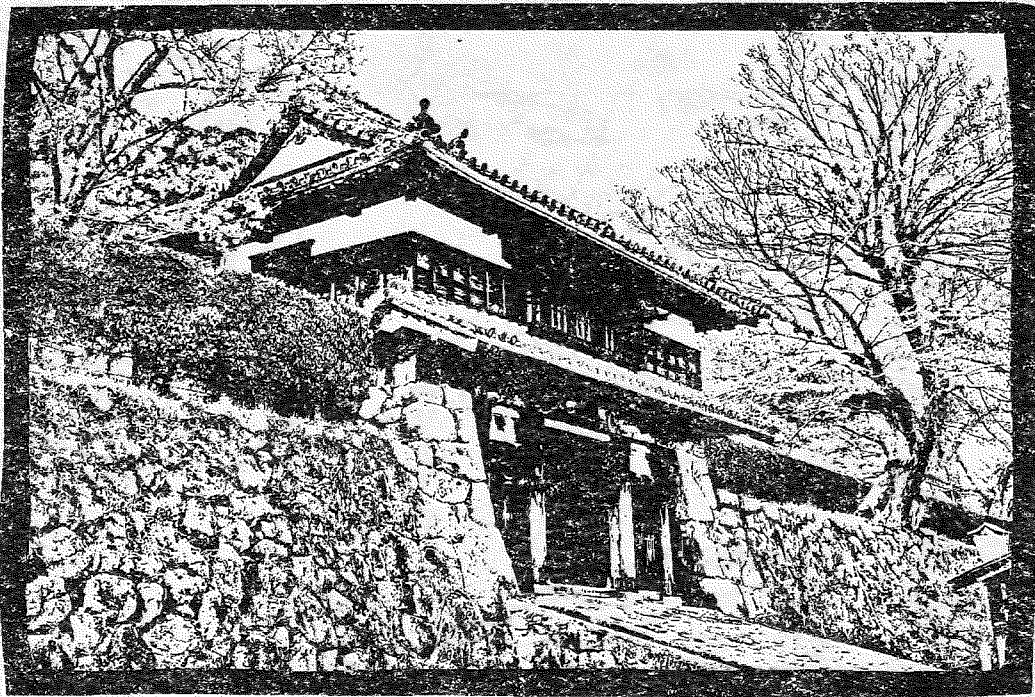
第68回大分県中学校長研究大会	くにさき大会	73
第73回全九州中学校長研究大会	福岡大会	82
第73回全日本中学校長会研究協議会	北海道大会	87

第4部 令和5年度研究大会の案内

第74回全日本中学校長会研究協議会	大分大会	93
-------------------	------	----

第50集

中学校長会研究集録



佐伯市 佐伯城 三の丸櫓門

大分県中学校長会

第50集 大分県中学校長会研究集録発刊に当たって

「Society 5.0」の到来が十数年後に予想されるなど、情報化、グローバル化が加速度的に進展し、教育を取り巻く環境は、急激かつ複雑に変化しています。このような中、新しい時代に求められる資質・能力の育成を目指す「社会に開かれた教育課程」の実現や、いじめ・不登校への対応、ICT活用指導力の向上、特別支援教育の充実等、様々な教育課題が生じています。

学校教育においては、これらの課題解決に加えて、全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」や「協働的な学び」の実現、子どもたちが安心して学ぶことができる「誰一人取り残されない学び」の保障に向けた多様な学びの場の確保が求められています。

一方、教職員の長時間勤務の実態は深刻であり、学校教育を維持・向上させ持続可能なものとするために、また、教師としての適格性を有する人材や個性豊かで多様な人材を確保するために、「学校における働き方改革」の推進は喫緊の課題となっており、必要な改革を躊躇なく進めながら、「令和の日本型学校教育」を担う「新たな教師の学びの姿」を実現していかなければなりません。

こうした状況を踏まえ、大分県中学校長会研究部長会では、今年度の研究推進に当たり、全日本中学校長会研究協議会主題「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」の下、各郡市研究部長による年間5回のテーマ別班別研修、全国大会・九州大会のレポート審議、教育行政の動向、教育課題等の情報収集・発信に努めてまいりました。

こうした中、令和6年6月21日には、大分県下の校長が一堂に会する第70回大分県中学校長研究大会佐伯大会が、佐伯市立彦陽中学校校長 高野真暢 実行委員長を中心とし、「さいき城山桜ホール」を会場として開催されました。鷹鳥屋神社宮司 矢野大和 氏による『『生きる力』を考えてみよう』と題しての講演を皮切りに、第1から第6分科会において、発表者の各校長から具体的な実践報告と提案を受け、全体協議やグループ討議での活発な意見交換や情報交換がなされました。そこで交わされた論議は、今後の各学校での実践の深化・発展に大いに寄与するものとなり、研究大会が、大分県中学校長会の運営方針を体現する重要な場であると改めて感じたところです。佐伯大会の運営に当たりましては、佐伯市中校長会の皆様方には、多大なご尽力を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。

また、令和6年8月20・21日には、第75回全九州中学校長研究大会宮崎大会が開催され、第6分科会にて、令和6年10月17・18日には、第75回全日本中学校長会研究協議会が開催され、第8分科会にてご提案いただきました宇佐市立宇佐中学校 江口善宣 校長に対しましても、深く感謝申し上げます。大分県の代表としてなされた具体的な実践報告や提案、問題提起が、九州・全国各地から参加した校長により活発に議論され、九州・全国の実践の深化・発展に寄与されていくものと確信しており、大分県中学校長会の研究の継続と今後の発展にもつながるものと考えています。

こうした1年間の取組を振り返りますと、来年度におきましても、校長としての経営感覚を磨き、未来志向の教育改革推進と直面する諸課題の解決に向け、強いリーダーシップを発揮する中学校教育の先陣として、大分県中学校長会が丸となって研究・実践に努めなければならないと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びになりましたが、今年度の研究推進に当たり、教育委員会関係者の皆様方をはじめ、各郡市中学校長、郡市研究部長の皆様方の誠意あるご協力に心より感謝申し上げます。

また、研究大会や研究部長会、各郡市の真摯な取組の記録である本集録を、それぞれの学校経営にご活用いただけますようお願い申し上げます、研究集録発刊の挨拶といたします。

大分県中学校長会の皆様方、本年度もご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

大分県中学校長会 研究部長 佐藤 義仁
(大分市立戸次中学校長)

目 次

第1部 郡市校長会 研究のまとめ

1	中津市	1
	主体的・対話的で深い学びの実現 ～「みんな活躍授業」をとおして～ 代表執筆者 中津市立耶馬溪中学校 校長 瀬野 香	
2	豊後高田市	5
	学校マネジメントによる人材育成の推進 代表執筆者 豊後高田市立高田中学校 校長 小川 匡	
3	宇佐市	8
	学校と地域の連携・協働による「チーム学校」と「働き方改革」の実現 代表執筆者 宇佐市立宇佐中学校 校長 江口 善宣	
4	別府市	11
	思いやりと笑顔があふれ自ら学び続けるたくましい生徒の育成にむけて ～「自分磨きの日」の取り組みを通して～ 代表執筆者 別府市立北部中学校 校長 太田 悟	
5	杵築市	13
	学校マネジメント力の向上をめざした取組 ～「学校評価の4点セット」様式の工夫～ 代表執筆者 杵築市立山香中学校 校長 真砂 一也	
6	速見郡	16
	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ～各校の校内研究を中心として～ 代表執筆者 日出町立日出中学校 校長 深町 勝幸	
7	くにさき地区	18
	学校における人材育成の在り方について 代表執筆者 国東市立安岐中学校 校長 岡野 秀一郎	
8	大分市	23
	新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育 代表執筆者 大分市立城南中学校 校長 糸永 秀章	
9	臼杵市	28
	臼杵の未来をたくましく拓き、超スマート社会をしなやかに生き抜く、臼杵っこの育成 ～小中一体教育を通して～ 代表執筆者 臼杵市立北中学校 校長 戸高 浩二	
10	津久見市	31
	開校初年度にあたる校内の組織体制の構築と地域連携について 代表執筆者 津久見市立津久見中学校 校長 岩尾 恭輔	
11	由布市	33
	他者と協働する中で自分のよさや可能性を感じ、 自分の将来に見通しをもってたくましく生きていく生徒の育成 ～キャリア教育に必要な自己理解・課題対応力等を育む「由布学」を通して～ 代表執筆者 由布市立庄内中学校 校長 石井 知由美	
12	佐伯市	37
	令和6年度 第70回大分県中学校長研究大会佐伯大会に向けての取組 代表執筆者 佐伯市立蒲江翔南学園 校長 安達 一郎	

13	竹田市	40
	学力向上に向けた体制の構築 ～組織づくりと人材育成の観点から～ 代表執筆者 竹田市立竹田南部中学校 校長 渡部 公比古	
14	豊後大野市	43
	ふるさとを愛し、主体的に未来を切り拓く子どもの育成を目指す 計画的・組織的な小中一貫教育の推進 代表執筆者 豊後大野市立清川小中学校 校長 野尻 秀信	
15	日田市	46
	多様化した教育課題に対応した学校経営 ～人材育成を含め職員の研修を深める校内研修をどうすすめるか～ 代表執筆者 日田市立東有田中学校 校長 手嶋 貴	
16	玖珠郡	53
	玖珠郡校長会における研修会の取組 代表執筆者 九重町立このえ緑陽中学校 校長 佐藤 慎治	

第2部 研究部長会 研究のまとめ

1	第1班	56
	テーマ：「主体的・対話的で深い学び」の実現 班長 深町 勝幸（速見郡） 班員 太田 悟（別府市） 真砂 一也（杵築市） 岡野 秀一郎（くにさき地区）	
2	第2班	59
	テーマ：多様化した教育課題に対応できる学校経営 班長 安達 一郎（佐伯市） 班員 渡部 公比古（竹田市） 手嶋 貴（日田市） 佐藤 慎治（玖珠郡）	
3	第3班	64
	テーマ：多様化した教育課題に対応できる学校経営と教職員の育成 班長 田所 正（宇佐市） 班員 小川 匡（豊後高田市） 瀬野 香（中津市） 野尻 秀信（豊後大野市）	
4	第4班	67
	テーマ：不登校生への対応について 班長 糸永 秀章（大分市） 班員 石井 知由美（由布市） 岩尾 恭輔（津久見市） 戸高 浩二（臼杵市）	

第3部 令和6年度研究大会のまとめ

第70回大分県中学校長研究大会	佐伯大会	70
第75回全九州中学校長研究大会	宮崎大会	79
第75回全日本中学校長会研究協議会	岩手大会	83

第4部 令和7年度研究大会の案内

大分県・九州・全国の研究大会	90
----------------	----